

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	庁舎整備課長 関沢 勝也		
行経-11	重点事業	公共施設再編事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	庁舎整備課(公的不動産活用課)
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	公共施設を資産として捉えた行政経営を行うため。
効果	公共施設に係る将来の維持管理コストを削減する。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎等整備に向けた取組を進めた。 ・本庁舎等整備執務環境調査業務については、年度内に業務の完了が困難であったため、翌年度へ繰越を行った。 ・前年度からの繰越明許費により、本庁舎等整備基本構想を策定した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	500,604	515,305	当初予算(千円)	
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	127	5	その他	
	一般財源	500,477	515,300	一般財源	0
	人員配置数	1.8	2.6	人員配置数	0.0
事業経費運営	総事業費(千円)	514,708	536,215	総事業費(千円)	0
	市民1人当りの経費(円)	2,919	3039	市民1人当りの経費(円)	
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	
	人員配置数			人員配置数	0.0
	人件費(千円)	14,104	20,910	人件費(千円)	0
	人員配置数			人員配置数	0.0

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー 出前講座、市民対話、ワークショップ等に参加した市民
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a:事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b:事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c:事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d:他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他
		「本庁舎等整備事業」として令和2年度以降切り出す。 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A:予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B:予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C:予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		新庁舎の整備及び現庁舎跡地(以下「現在地」という。)の利活用については「本庁舎等整備事業」として切り出す。「鎌倉市本庁舎等整備基本構想」を踏まえた「本庁舎等整備基本計画」及び「現在地利活用基本構想」の策定に向けた取組を着実に推進する必要があるため、一定の予算規模が必要である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	本事業は、次世代に向けた市民生活の拠点であり、かつ、災害時の拠点となる本庁舎の再整備に向けた準備を進めるものであり、本市において非常に重要な事業であることから、事業の有効性(貢献度)を4としている。 令和元年度(2019年度)は、本庁舎の整備に関する基本的な考え方(理念や規模など)を示す基本構想の策定に向けて、基本構想(素案)に対するパブリックコメントを実施し、その結果を踏まえた鎌倉市本庁舎等整備委員会からの答申を受け、「鎌倉市本庁舎等整備基本構想」を策定した。本庁舎の整備及び今後の基本構想の策定に取り組む現在地の利活用については、市民対話や市民アンケートの実施など、広く市民等の声を取り入れながら、事業を進めていく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	新たな本庁舎等の整備に関する基本構想の策定に当たり、引き続き、市民感覚、市民目線の取り入れ方や合意形成の仕組みづくりなどを含めた、市民意見の反映手法等の工夫が必要である。また、近年の災害を踏まえ、本庁舎が防災拠点として必要な機能を発揮するための考え方や対応についての検証が必要である。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	本庁舎の整備に関する基本的な考え方(理念や規模など)を示す基本構想の策定に向けて、基本構想(素案)に対するパブリックコメントを実施し、その結果を踏まえた鎌倉市本庁舎等整備委員会からの答申を受け、『市民ニーズや社会情勢の変化に応えるコンパクトな本庁舎』を基本理念とし、防災面から見た本庁舎整備の考え方等を盛り込んだ「鎌倉市本庁舎等整備基本構想」を策定した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	今後予定している本庁舎等整備基本計画及び現在地の利活用に関する基本構想の策定に当たり、引き続き市民感覚の取り入れ方や同意形成の仕組みづくりなどを含めた、市民意見の反映手法等の工夫が必要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向						備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
事業の目標の一つである施設削減等の達成状況が確認できるため	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--